

列車事故対応訓練②

危険物車両火災・多数負傷者対応訓練

琴平電鉄列車が走行中、踏切においてトラックと衝突、トラック積荷の発火性液体が落下し、火災が発生したことを想定し、列車内にも負傷者があることを想定したものです。

琴電側の初動体制から、消防機関への活動の引き継ぎ及び、連携内容を確認する重要な訓練です。火災と負傷者の搬送を同時進行で行う必要があるため、現場統制力が必要となります。

1. 危険物火災に対して、対応した消火活動を実践しています。（特殊な薬液により冷却と窒息効果によるものです。）
2. 同時進行で、車両内の乗員を救出しています。屋内進入した隊員と、屋外の隊員が協力し、安全に配慮しています。



3. 歩行可能な患者をトリアージエリア（負傷者の搬送選別所）へ誘導しています。
4. 歩行が不能な乗員を救助隊が担架に固定し、搬送の準備を行っています。



5. 搬送準備が整い隊員が協力し、車外へ救出しています。
6. その後に歩行可能な方を救出し、車掌を介助して救出しています。

